情報資産管理運用のあり方

~学内のデータバンクを目指して~

第5分科会 第3テーマグループ

大学を取り巻く社会的環境の変化

- ①18歳人口の減少
- 私立大学の淘汰、定員割れ
- ②大学の自己点検・自己評価

৺ テᄼᄼᄱᆖᄑ

質の保証

「学生が社会的および職業的自立を図るために 必要な能力を培うための体制を整えるものとする」 一[参考] 文部科学省 大学設置基準の改正

(平成23年4月1日施行予定)

→国、社会から大学改革が求められている

システム管理者からみた 情報資産管理運用のあり方(現状分析)

- ①適正な管理
- ライセンス管理・機器管理、データの信憑性
- ②安全•安心
- 安定稼働、迅速な復旧
- ③セキュリティ
- アクセス権限制御、ポリシー策定・共有

3

利用者は何を求めているのか

(現状分析

)(1)

[学生の場合]

大学生活・人間形成に関わる情報

- 休講情報、成績、試験
- 就職
- アルバイト
- ⇒社会に出て活躍できる人材になりたい 大学に行くことで、変わりたい 有意義な学生生活、仲間づくりをしたい

利用者は何を求めているのか

(現状分析

) (2)

[教員の場合]

- ▶ 教育·研究情報
- > 学習支援情報
- > 学生生活支援情報
- ⇒学生の状況を把握し、より高い教育研究効果、大学 の質の向上を図る

5

利用者は何を求めているのか

(現状分析

) ③

[職員の場合]

- 業務遂行(教務、学生、法人等の各業務情報)
- > 学生生活支援
- ⇒情報共有による迅速な対応 教職協働の連携を高め、教育研究効果、大学の質の 向上を図る

利用者は何を求めているのか

(現状分析

) (4)

[保護者の場合]

- 子息の状況(履修、成績、出欠、学生生活など)
- > 大学の情報
- ⇒卒業できるのか 就職できるのか 人生設計は

7

現状分析からニーズを満たすため に

- 1. どのように情報を管理するか
- 2. どのような形で情報を提供するか
- 3. どのように業務の省力化を図るか

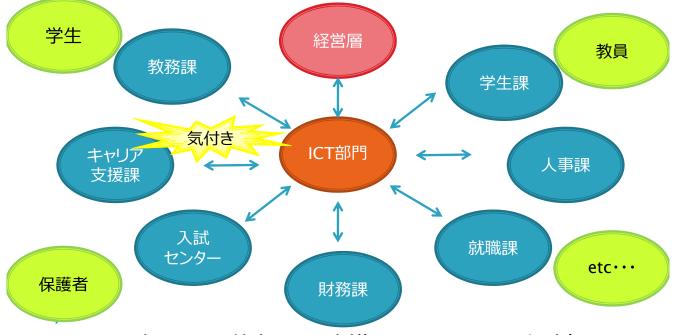
多種多様な知の資産を収集、管理、提供 →最新情報をスピーディに提供





"**気づき**"(=戦略)を生み出す

ICT戦略コンサルタントを目指して



▶ ⇒ICT部門は、他部署と連携をとる HUB の役割

ICT戦略コンサルタントを目指して

- ト情報管理部門の意識改革
 - →職員全体の意識改革
- ▶ →教職協働
- 情報管理部門のイニシアチブ発揮
 - ⇒大学経営支援・パートナーシップ

情報は活用すれば宝の山

活用しなければただのゴミ!

